

平成25年度1%システム採択事業

単位(円)

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	1. 常盤野町会防災活動	常盤野町会	災害に強い地域づくりを推進するため、地区一斉避難訓練、救急法講習会や地区子ども会防災キャンプ等を実施する。日頃から地域全体で訓練することで、いざという時に生かされる地域の支援体制を整備し、誰もが人が人に対応できる体制を整え、地域一体で防災意識の向上を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	3. 第1回弘前城リレーマラソン	特定非営利活動法人 スポネット弘前	行事が少ない6月の弘前公園を会場に、5~10人のチームが1周2kmのコースをタスキリレーでつなぎ、42.195kmを走破する「弘前城リレーマラソン」を開催する。子ども、高齢者、障がい者等、少し運動してみたい人から本格的に走る人まで、様々なニーズに対応したリレーマラソンを実施することで、市民の健康増進やスポーツ人口の増加を図ると共に、スポーツリズムを推進する。	431,000	431,000	431,000	431,000
一次	4. 第2回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会	弘前歩こう会	市民の健康増進と親睦交流を図るため、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を昨年同様実施する。参加者数や参加対象年齢を昨年より広げるほか、事前の救急救命講習で安全対策を強化し、多くの参加者にウォーキングの素晴らしさを体感してもらうと共に、岩木山の紅葉の絶景と弘前市の魅力を全国に発信する。	426,000	426,000	426,000	426,000
一次	5. 一般市民への成年後見制度の普及・啓発・相談・援助事業	シンフォニー「成年後見制度を考える会」	高齢化に伴い成年後見制度の重要性が高まっているが、複雑で難しく制度の利用に戸惑う人が多いため、市民を対象とし、専門家による公開講座やセミナー、相談室、意見交換会、裁判所見学などを開催して、制度の普及を促し支援のネットワークを構築して、この制度を必要とする本人や家族を支援していく。	198,000	198,000	198,000	194,000
一次	6. 槌子町会環境美化運動「花いっぱい運動」	槌子町会	昨年、町会の青年部、成年部、女性部、子ども会、高齢者対策部が中心となり、町会総出で実施した「花いっぱい運動」を引き続き実施する。町会の大通りの他、今回は町会を東西に延びる枝線の住宅沿いにもプランターを設置し、町内の花壇やプランターに苗花を植えることで、地域の環境美化を図るとともに、住民同士の交流と親睦、相互扶助の活動的な明るい町会をつくる。	216,000	216,000	216,000	216,000
一次	7. 鳥井野地区お山参詣実施事業	鳥井野地区お山参詣実行委員会	鳥井野地区の地域住民が自由に参加交流できる体験型行事として、昨年65年ぶりに復活させた「鳥井野地区お山参詣」を引き続き実施する。各作業を分担して行うワーキンググループごとに、ベテランと若手を組み合わせて活動計画を遂行し、町会住民の信頼関係や協力関係の向上と後継者の育成を図る。	350,000	350,000	350,000	350,000
一次	8. 岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	岩木山は、「全国ふるさと富士」人気投票で第一位に輝くほど美しい山であるが、登山客やトレkkerからは山中に廃棄物が目立つとの苦情が多い。岩木山を愛して訪れる観光客のために、美化活動・エコフォーラムのほか、写真展などのエコ活動啓発イベントを引き続き実施し、啓蒙啓発活動に力を入れながら、岩木山の環境美化に取り組む。	495,000	495,000	495,000	495,000
一次	9. 2013岩木町絆フェスティバル事業	岳陽ふるさと創生会	帰省者を含め、地元住民や子どもたちの交流を深めることを目的に夏祭りを開催する。今年度は、過去に開催した際に参加が少なかった10~30代の若者たちの参加を促すために、旧岩木町出身のアーティストを中心としたコンサートを開催する。	444,000	444,000	444,000	444,000
一次	11. 弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	ストレスが多い現代社会において、多くの市民の健康と生きがいづくりを目的に、自然環境に恵まれている「市民の森」での各種療法（森林療法、園芸療法、芸術療法）の体験や、収穫した野菜を活用した料理教室、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談を行う。	212,000	212,000	212,000	173,000
一次	12. 映画上映会（「うまれる」）	SEEDS NETWORK	親子関係やパートナーシップ、社会的な役割について、より多くの人が連携・協働する社会について考えるきっかけをつくるため、ひとりひとりが生まれてくる意味を考えることができる映画である「うまれる」の上映会を開催する。	144,000	144,000	144,000	101,000
一次	13. ワークショップマラソン2013	CLAP（クラブ）	楽しみながら学ぶことを気軽に始めるきっかけづくりのため、ダンスや三味線などをはじめ、写真撮影などの技術に関するものまで様々なワークショップを1日に同時に開催し、ワークショップ終了後には発表会も行う。ものづくりのワークショップについては、講師を一般公募することにより、講師側として参加する機会を提供する。	458,000	458,000	458,000	436,000
一次	14. 大開町会納涼祭り	大開町会	地域住民同士の親睦の向上やまちづくりの基本となる団結心を育むために、納涼祭を開催する。準備の段階から子どもたちに手描きのポスターを募集したり、三味線・手踊り・ねふたばやしといった伝統芸能を間近で感じることができる場を設け、多世代の交流を図る。	79,000	79,000	79,000	79,000
一次	15. 第四回「祝唄二題」津軽山唄・津軽謙良節全国大会	津軽山唄・津軽謙良節全国大会実行委員会	古くから祝い唄として唄い継がれる「津軽山唄」「津軽謙良節」の正しい伝承と保存及び普及を図るため、全国大会を実施する。また、大会後は大会実行委員と有志による市内福祉施設への慰問や、中学校への出前講座を行う。	500,000	500,000	500,000	0 ※1
一次	16. 青森スマートドライバー	青森スマートドライバー実行委員会	市内の交通事故の削減と運転マナー向上を実現するため、オリジナルステッカーの配布などを通して、「安全運転はカッコイイ」という運動を展開する。従来の交通安全イベントとは異なり、取り締まるのではなく、良い運転を「褒める」イベントを実施し、地域の交通安全意識の向上を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	17. イルミネーション&ねぶたロード整備事業	和徳町大通り町会	弘前市で一番最初の中心市街地であったと言われている和徳町の県道沿いに、子ども達が絵を描き、町会の青年部が中心となって制作したねぶた対馬イルミネーションを設置する。和徳町県道沿いを、町会住民が整備することで、町会の活性化を図り、和徳の歴史の一幕を後世に伝えていく。	477,000	477,000	477,000	471,000
一次	18. こども達の芸術舞踊公演2013	ひろさき芸術舞踊実行委員会	子どもたちが主役の舞踊公演を開催し、子どもたちが主体的に舞台芸術に触れ、ひとつの作品をみんなで作ることで、青少年の豊かな心を養い、文化活動の振興を図る。出演する子どもたち、指導する講師は、オーディションにより決定し、計60回の練習を行い公演を実施する。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	19. ダンス&パフォーマンスキャンプと交流文化祭	ひろさき芸術舞踊実行委員会	スポーツ競技に比べて、学校が一同に会して競う場がないダンス分野において、市内の中学生・高校生を対象に、ダンス・パフォーマンスを主としたサークル・部・同好会単位でのコンテストの場、交流の場を設けた文化祭を開催する。さらに、一流と呼ばれる講師陣と触れ合う機会を設け、活動する側の知識と意識を高め、世代も学校も超えた交流を持てる環境作りを行う。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成25年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

一次	20.	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動(史跡里山環境美化活動)	乳井町おこし協力会	乳井町会内の史跡である茶臼館、ホテルが集まるため池が放棄され崩壊寸前の状態となっているため、治道整備や護岸杭打ちなどの整備を行う。地域のこども会や消防団、老人クラブ等の参加を図りながら茶臼館からの絶景やホテルの鑑賞会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていく。	293,000	293,000	293,000	224,000
一次	21.	五代町会夏祭り&ほたる鑑賞会(学習会)	五代町会	これまで集会所で実施してきた夏祭りの開催場所を、ホテルが鑑賞できる蔵王地区に変えて実施する。ホテルの鑑賞会(学習会)を行うことで、子ども達がほたるの習性と自然環境に思いを寄せると同時に、子どもと大人がコミュニケーションをとりながら町会員の親睦を図る。	133,000	133,000	133,000	115,000
一次	22.	クラフトフェア事業「津軽森・つがるもり」	つがるもり実行委員会	桜林公園の屋外空間で、全国各地のクラフト作家の展示を行うクラフトフェア「つがるもり」を開催する。つがるの森で、ものづくりの気持ちを大切に制作された工芸、クラフト、アート等の様々なモノに触れることで、モノと人、人と人の「つながり」の場となり、弘前のものでつくり文化の発展につなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	23.	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 「けの汁発祥の地 和徳城 小山内謙政の守後4.4.2年祭」	和徳歴史探偵団	和徳町の地域には、むかし、和徳城があったことや、その城主である小山内謙政守が大浦為信によって落城された歴史を持ち、落城前に兵士たちが食べたこと「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝えながら、和徳町の地域活性化を図っていく。	170,000	170,000	170,000	168,000
一次	24.	藤代地区の子供たちを見守る事業	自主防犯パトロール隊 アップル☆キッズ	致遠・三省小学校の小学生を対象に、非行防止や防犯をテーマにした紙芝居や絵本の読み聞かせ、あいさつ運動などを通して、地域ぐるみの防犯活動に取り組み。致遠・三省小学校のリトルジャंपチームの児童たちと一緒に活動するほか、読み聞かせの絵本をメンバーで作成し活動に活用していく。また、地域住民や保護者を対象とした、子どもたちの健全育成や防犯対策についての講話会も開催する。	196,000	196,000	196,000	174,000
一次	25.	三省SUN太陽(サン)フェスティバル2013	三省地区地域活性化協議会	三省小学校の児童や関係者と、地域住民によるねぶた制作と運行や、ねぶた囃子・盆踊りを子どもたちに継承する講習会を開催するほか、今年から新たに、ねぶた運行時の交通安全を呼びかけるチラシ配布や坐禅会を実施することによって、世代間の交流を図る。	200,000	200,000	200,000	200,000
一次	26.	湯口交差点「花いっぱい運動」	JA相馬村女性部	旧相馬村の地図が掲示され、観光バスも頻りに通る湯口交差点を、地域の子ども会や老人クラブ、婦人会と一緒に苗花を植えたプランターを設置する「花いっぱい運動」を行う。地域で湯口交差点の環境美化に取り組むとともに、子ども達に育てることの大変さや喜びを伝えていく。	54,000	54,000	54,000	42,000
一次	28.	こぎん刺し! KoginFES!!2013	KoginFES2013実行委員会	津軽に古くから伝わる「こぎん」に関するワークショップや古作こぎんの展示、「津軽こぎん刺し模様の可能性」をテーマにしたkogin展を開催する。現在・過去・未来のこぎんの魅力を伝えることで、地域のものものの良さを再発見や後継者育成のきっかけ作りとし、さくら祭り期間中に実施することにより、津軽のものものの良さを県外にも発信していく。	500,000	500,000	500,000	488,000
二次	1.	城西学区安全で安心な「地域安全マップ」作成事業	城西学区子ども安全サポート推進事業部	昨年に引き続き、犯罪や事故のない、安全で安心して生活できる地域の環境づくりを目指し、城西小学校5年生児童と地域住民が一緒になって、「地域安全マップ」を作成する。地域の危険箇所などを調査点検しながら作成した「地域安全マップ」は、他の学年の児童や保護者の前で発表するほか、マップを地域に全戸配布することで防犯意識の高揚と改善を図る。	136,000	136,000	136,000	129,000
二次	2.	通学路等における児童の見守り活動	堀越子ども見守り隊	交通量が多く、危険な区域が多い堀越小学校通学路において、揃いのベストを着用し、児童の見守り活動を実施する。これまで、教職員と保護者で実施してきた活動に、新たに学区内の町会などに参加を呼び掛け、地域全体の安全意識を高めるほか、子ども達が考案した図案やキャラクターの入ったベストを着用することで、地域の一体感を強める。	198,000	198,000	198,000	198,000
二次	3.	下湯口・悪戸地区お山参詣実施事業	下湯口お山参詣保存会	「盆踊り大会」や「地区運動会」などの地域協力型の行事が行われなくなり、住民間の絆が薄まりつつある中、50年程前まで地域で行われていた「お山参詣」を地域住民の手で復活させる。老若男女が参加できる行事として実施することで、多世代交流や住民間の連携を図り、地域住民の団結力を高めていく。	500,000	500,000	500,000	256,000
二次	4.	ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	ねぶたや立辰武多、登山囃子などの津軽の笛と津軽発祥の和太鼓「担ぎ太鼓」のワークショップ及び競演コンサートを開催する。津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等で笛指導者のシバルアップと指導力アップを図り、津軽笛の奥深さを感じてもらおう。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	5.	泉野まつり	泉野町会	これまでなかなか会う機会がなかった住民同士が、普段できない近所同士のコミュニケーションを図っていくため、地域住民が協力して行う「泉野まつり」を開催し、地域住民の輪を広げる。	200,000	200,000	200,000	44,000
二次	6.	夏祭りin原ヶ平13	原ヶ平町会	町会の活性化を図るため、「夏祭りin原ヶ平13」を開催し、世代を超えた町民の親睦と、新居住者と旧居住者の交流の場を設け、互いに助け合い、明るく、安全で安心して住むことができる町づくりを進める。	100,000	100,000	100,000	100,000
二次	8.	ゲートボール場及び休憩所整備事業	吉川町会	町会の中心に位置し、町会の人同士が顔を合わせるコミュニティの場であるゲートボール場及び休憩所が、長年の使用により土地の起伏が激しくなり、練習の不便さにより町外のゲートボール場で練習することが多くなったため、町会毎戸で草刈り・細砂の敷き詰めなどの整備を行い、地域の触れ合いを高め、後世に愛着のある場として残していく。	142,000	142,000	142,000	127,000
二次	9.	古都弘前きものde散策	青森県美容業生活衛生同業組合 弘前支部	多くの国指定重要文化財建築を有する古都弘前において、弘前城菊と紅葉まつり会期中に「古都弘前きものde散策」を実施する。和装した市民が、文化財建築や趣のある建物を巡ることで、古都弘前の文化を再確認し、城下町の魅力と誇りを再発見するほか、その模様を情報発信することで、古都弘前の魅力をPRする。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	10.	津軽民謡りんご節世界大会	津軽民謡りんご節世界大会実行委員会	青森りんごの宣伝用として作成され、津軽の四季折々の情景が歌いこまれた民謡であるりんご節の大会「津軽民謡りんご節世界大会」を開催する。小中学生の参加者へ向けた事前講習会の開催や、経験年数3年以下の人を対象にした部門の新設などにより、未経験者や経験年数が少ない人でも参加できる機会を設け、多くの人に伝統文化に親しむ機会を増やすことで、民謡の普及を図る。また、津軽の伝統文化を県内外に発信し、伝統継承と地域文化の活性化を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	13.	「中野町民いこいの広場」整備事業	中野町会	住民の親睦と交流を図るために、桜の植樹など長い年月をかけて整備してきた「いこいの広場」を、後世が手間をかけずに維持管理できるように、町会住民の手によってコンクリート舗装工事を行い、広場の更なる環境整備を図る。	474,000	474,000	474,000	474,000

平成25年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

二次	14.	ひろさきの街の水彩写生を通じて街を愛する子供たちに「みんなで描こうひろさき百景」	津軽ひろさきマーチング委員会	弘前の街並みを保存し、大切にするという意識を高めるため、弘前の街並みを描いたイラスト展を開催する。また、小学生から一般までを対象に「みんなで描こうひろさき百景」と題したイラスト教室を開催し、自分の好きな弘前の風景のイラストを描いてもらい、完成した作品の展示会を行う。	398,000	398,000	398,000	347,000
二次	15.	コミュニティシネマ事業「harappa映画館」	NPO法人 harappa	中心市街地を会場として、県内では上映されることの少ないミニシアターやドキュメンタリー映画の上映会を行う。地域性に合った作品選定や実施準備をボランティアスタッフや学生などが一緒になって実施し、映画教育の一環として、監督や俳優などを招聘してティーチインを行い、より映画を楽しむ取り組みを実施することで地域住民に対する映像芸術、映画文化の普及と振興を図る。	500,000	500,000	500,000	488,000
二次	16.	地域の文化資源を活かした生活の再発見プロジェクト「岩木遠足2013」	岩木遠足実行委員会	津軽に根付いている人、食、文化、自然などの豊富な地域資源に触れ合いながら、生活をテーマとしたレクチャーやワークショップの体験をする「岩木遠足2013」を実施する。岩木遠足を通じて、普段の暮らしを見つめ直し、地域の新しい価値を発見することで、地域住民ひとりひとりが「まち」を楽しみ、支えていく意識を広げていく。	202,000	202,000	202,000	153,000
二次	17.	ひろさきアフタースクール「人材育成」事業（市民先生養成講座）	あんだよ・せらびー共育研究会	学童保育（なかよし会）の対象にならない小学校4年生～6年生や部活動を行っていない中学生が放課後を過ごす場所づくりが急務であるため、子どもたちが充実した放課後を過ごすことができるよう、子どもたちを地域で預かる人材を育成するための勉強会を開催する。	218,000	218,000	218,000	205,000
二次	18.	第11回ホームムービーの日	HMD弘前	過去に撮影された8ミリフィルムや16ミリフィルムの中には、数十年前のさくらまつりやカルチャアロードの映像が存在する。弘前の貴重な映像を、史料として後世に残していくため、家庭に眠るフィルムを上映する「ホームムービーの日」を開催し、市民に映像史料の大切さを実感してもらい、家庭に残るフィルムを残していくこととする意識を高めていく。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	19.	第13回とんとん祭り	とんとん祭り実行委員会	東地区は郊外型店舗の出店していることもあり、地域の住民以外の人の出入りが多い。たくさんの方が出入りする土地だからこそ地域内の顔見知りを増やし、犯罪防止や助け合いのきっかけを作り出すため、地域の住民同士が交流する場となる「とんとん祭り」を開催する。	180,000	180,000	180,000	159,000
二次	20.	山岸堰改良事業	国吉町会	町会を流れる山岸堰は、防火用水・融雪用水・農業用水として利用されているが、春先の融雪時や豪雨時の際に水が溢れたり、決壊の恐れがあるため、U字溝を購入し、地域住民で改修工事を行う。（延長100m）	488,000	488,000	488,000	488,000
三次	1.	子どもの救急・アレルギー・アナフィラキシーショックへの対応と「E」イベント使用に対する講習会」並びに救急蘇生の啓蒙活動	特定非営利活動法人津軽広域救急支援機構	教育現場や家庭における子ども達のアレルギー反応への対処に関して不安の声があがっていることから、教育関係者や子どもを持つ市民を対象に、アレルギーに関する基礎知識や対処法を学ぶ講習会を開催する。より多くの市民がアレルギーの知識を身につけ、突然の事態にも対処できるようにすることで、安心安全のまちづくりを推進していく。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	2.	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	近年豪雪が続き、行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪でより鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用して、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	275,000	275,000	275,000	243,000
三次	3.	権利擁護支援ネットワーク事業	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	老年世帯が増加する中、高齢者の問題は介護サービスのみならず、経済的問題や契約その他法律問題など多岐に渡り、様々な機関分野を越えた連携が必要であることから、昨年に引き続き、市民の身近な悩みについて法律と福祉の専門家へアプで相談を受ける「福祉と暮らしの相談会」を開催する。また、権利擁護に関する他市の事例を学ぶシンポジウム等を開催し、弘前市における権利擁護システムの在り方を検討する。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	5.	岩木山南麓豪雪まつり	岩木山観光協会	「雪と遊ぼう」をテーマに、豪雪を活かした冬の岩木山ならではのイベントを実施し、雪を楽しみながら過ごす機会を提供する。岩木山麓の各団体が協働作業により事業を実施することで、地域の団結を深め、地域活性化への意識を向上させていくほか、それらを市民や観光客にPRし、冬場の岩木山の楽しみ方を伝えていく。	495,000	495,000	495,000	495,000
三次	7.	南城西町会加入と活動参加促進のためのパンフレット「みなみな南城西！！（仮）」製作事業	弘前市南城西町会	町会の仕組みや町内の人やイベントの紹介記事等を掲載したパンフレットを作成する。町会有志で組織するワーキンググループが、老若男女誰でも楽しく関心を持つ掲載内容を検討し、パンフレットを配布することで、日常生活に密接な関わりを持つ町会活動への参加を促し、地域の連帯感の向上を図る。	249,000	249,000	249,000	249,000
三次	8.	PECSロゴステッカーを拡散して、ASDの方の外出を推進するプロジェクト（略称：PECSロゴステッカー拡散プロジェクト）	あおもりPECS研究会弘前支部	言葉でのコミュニケーションに難しさを感じていることが多いASD（自閉症スペクトラム障がい）の方の外出や買い物などの余暇活動の場を広げ、安心して楽しく外出できるまちづくりを推進するため、商店街を対象に、ASDの方などに世界的に広く使用される絵カード（PECS）を用いたコミュニケーション方法やASDについて学ぶワークショップを開催するほか、参加店舗での模擬体験を実施する。	208,000	208,000	208,000	185,000
三次	9.	バリアフリー情報配信～弘前をバリアフリーで満たそう～	バリアフリー調査隊Lier（リエ）	誰でも容易に市内のバリアフリー情報が入手可能で、障がいのある方も気軽に外出できるようにするため、バリアフリー状況の調査を行い、それらの情報を掲載した「土手町おもてなしブック」を作成する。調査地域である土手町商店街で、バリアフリーに関する講演のDVDを上映し、バリアフリーへの理解を深めてもらうほか、障がいのある方も調査に参加し、直接商店街の方と触れ合うことで建築物だけではなく内面のバリアフリーを進めていく。	332,000	332,000	332,000	232,000
三次	11.	「雪かき」を活用した親雪推進事業	津軽ひろさき雪かき検定実行委員会	「雪かきは辛い、大変」から「雪かきは楽しい」と意識の転換を図るため、雪かきに関するイベントや出前講座を開催する。雪灯籠祭りや岩木山南麓豪雪祭りの会場で「津軽ひろさき雪かき検定」を開催し、参加者が雪かきの腕を競うほか、市内の小学校等で雪かき出前講座を開催し、海外製のスコップに触れながら雪を楽しむことで、雪かきの楽しさを体感してもらおう。	410,000	347,000	347,000	272,000
合 計					17,181,000	17,118,000	17,118,000	15,571,000

※1 事業廃止

申請事業 59事業 20,802千円
採択事業 50事業 17,118千円
交付決定事業 50事業 15,571千円